国保組合だより

東京土建国民健康保険組合
東京都新宿区北新宿1－8－16
郵便番号169－0074
電話　03（5348）2980（代）
ファックス　03（5348）2981

国保組合ホームページ

第146回組合会を開催

2025年度 決算・事業報告を承認

開会の挨拶をする佐藤理事長

中期財政計画に沿った運営で
健全な財政基盤確立と強化

国保組合は7月28日（火）第146回国保組合会を開催しました。当日は組合会議員（委任を含む）・理事・監事・顧問42人が出席し、26年度第42期組合会議員を確認、25年度事業報告、歳入歳出決算報告及び監査報告、決算剰余金処分案について審議を行ない、全会一致で承認されました。

開会にあたり、組合会成立の報告及び佐藤理事長によるあいさつの後、ご臨席いただいた全建総連の中原社会保障対策部長、東京都連の堀井書記長、東京建設業国保組合の阿南理事長からそれぞれごあいさつをいただきました。次に、26年度・第42期組合会議員を確認後、議長に尾花慎司議員（町田支部）、副議長に藤川善清議員（墨田支部）を選出し議案審議に入りました。

事業・決算報告

25年度事業は、国保組合設立55周年という節目において3年に渡る保険料引き上げの初年度という中、健全な財政基盤の確立と強化、母体労働組合と一体となった健康増進活動と社会保障制度拡充を求める取り組みを重点に、10の柱で推進してきました。具体的な特徴点は次のとおりです。

財政関連では、大幅な保険料引き上げにご理解いただいたうえでの第4期中期財政計画に沿った運営により財政基盤の確立及び強化を図ってまいりました。

保健事業関連では、特定健診受診率を伸ばしてきたほか、この間、課題となっていた特定保健指導の実施率については、集団健診での同日実施の推進が図られたことで、前年以上の利用者数となりました。

また、健康づくりを意識づける取り組みでは「がん」をテーマに学習が進められるよう学習資料を充実させることで、支部・分会での健康教室開催を促進するとともに、「kencom」及び「けんチャレプログラム」は利用しやすい環境を整備し、仲間の自発的な健康増進活動を後押しするところとなりました。

決算状況では25年度の歳入は583億5085万円、歳出は545億3214万円となり、剰余金は38億1871万円となりました。

支部報告と講演

特定健診・特定保健指導に関する取り組みについて、2支部から報告がありました。

練馬支部からは特定健診受診率向上の取り組み報告で、分会の保健対策推進委員の体制確立を柱とした日曜集団健診の綿密な計画と実施、また、健康に対する意識づけの強化としての分会健康教室の実施について、経験報告がありました。

村山大和支部からの特定保健指導の取り組み報告では、利用率停滞の危機感から、特定保健指導を集団健診と同日開催したことで利用率が約3倍に増える結果となり、支部にとって特定保健指導の取り組みが確信となる経験報告がありました。

両支部とも事業方針を補強する大変重要な経験報告でありました。

また、株式会社データホライゾンから「あなたと家族の健康を、組合と守る」というテーマで講演をいただき、国保組合で取り組んでいる健診・特定保健指導を通じた重症化予防の事業などについて、詳しい説明がありました。

監査報告

小坂剛監事、大房孝朗監事から会計処理、事業内容とも適正に運営されていると報告がありました。

また、引き続き健全な財政運営・事業運営のほか、さらなる健康増進活動にむけた効果的な対策や職業病対策事業に関するより一層の努力、マイナンバー制度の情報連携及びオンライン資格確認にかかわる実務に関する意見が付されました。

剰余金処分

26年度予算案において32億4397万円を繰越金として見込んでおり、同額を次年度に繰り越すこととした他、5億7474万円を事業運営安定積立金へ積み立てることとしました。

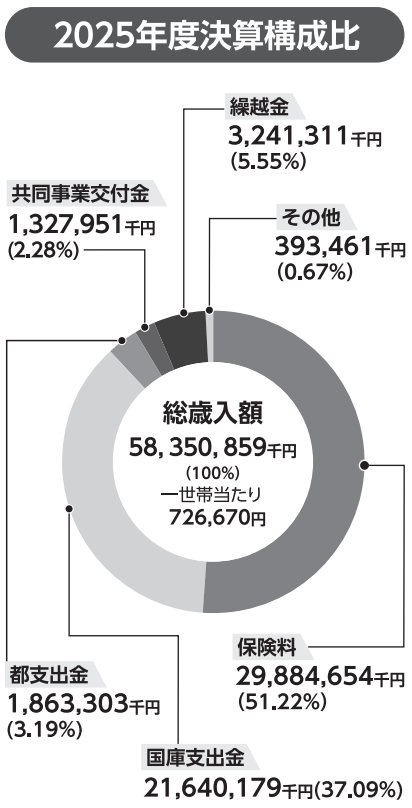
表彰

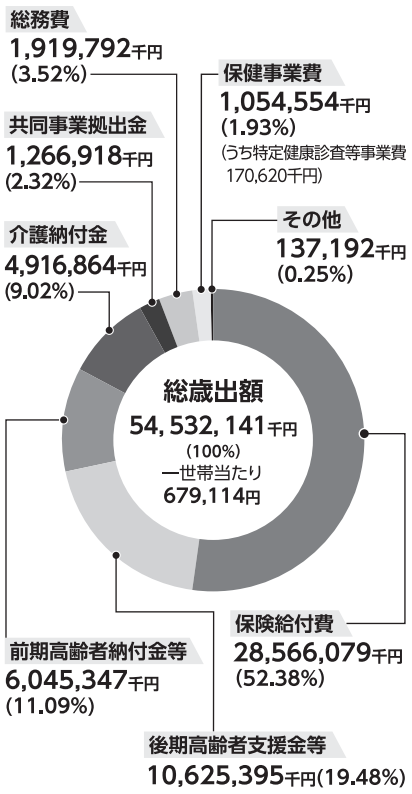
特定健診・特定保健指導について全支部をけん引する到達を築いた7支部及び8つの分会に対する表彰（10面参照）のほか、組合会議員を退任される方々への表彰を行ないました。

専門委員会

全体会終了後、財政、資格・管理、給付・審査、健康の4つの専門分野に分かれて、各取り組みに関して内容と理解を深めるための専門委員会を開催しました。

2025年度決算構成比





◆被保険者数

組合員	79,735人
家　族	65,273人
合　計	145,008人

前年同月比3,551人減

◆特定健診

（2026年度）

対象者数	79,457人
受診者数	8,162人
受診率	10.3%

◆特定保健指導

（2026年度）

対象者数	13,985人
利用者数	229人
利用率	1.6%

（7月末現在）

2025年度　財産に関する調書

■財産目録　（単位：円）

区　分	金　額
1.土地及び建物	1,490,331,208
2.物品	5,683,940
3.債権	6,655,000
4.積立金	14,469,410,981
特別積立金	4,503,488,514
給付費等支払準備金	3,313,224,425
退職積立金	311,251,446
事務所修繕積立金	363,563,643
電算事務処理改善積立金	1,088,840,275
事業運営安定積立金	4,889,042,678
合計	15,972,081,129

2025年度　一人当たり月額医療費

（単位：円）

過誤調整後	給付割合	費用額（月額） 予算	費用額（月額） 実績	保険者負担額（月額） 予算	保険者負担額（月額） 実績
一人当たり平均		19,239	18,925 (2.0%)	13,706	13,451 (1.8%)
70歳以上	平均※		57,152 (5.4%)		43,104 (4.9%)
65～69歳	7割		44,436 (5.8%)		30,960 (5.8%)
小学生～64歳	7割		15,651 (2.5%)		10,922 (2.5%)
未就学児	8割		20,230 (△3.9%)		16,127 (△3.9%)

※給付割合は7割「現役並所得者」と8割「一般」の平均。　（　　）は前年度伸び率

年度末　被保険者数

（単位：人）

		組合員	家　族	合　計
①2025年度末		79,751	66,935	146,686
2025年度の組合員・家族の増減	②新規加入・一部取得	8,336	6,582	14,918
	③脱退・一部喪失	9,284	9,491	18,775
	後期高齢者医療への移行（再掲）	(851)	(691)	(1,542)
④2024年度末		80,699	69,844	150,543
⑤2025年度の実増減（①－④）		△948	△2,909	△3,857

国保組合だより

第146回 組合会

2025年度特定健診・特定保健指導表彰

文京支部 2年連続 健診受診率1位

小平東村山支部 3年連続 家族受診率1位

7月28日に開催した第146回国保組合会にて、特定健診・特定保健指導に係わる支部報告と、25年度の特定健診受診率・特定保健指導利用率の上位3支部、特定健診受診率70％目標達成分会が表彰され、「特定健診受診率」は文京支部が2年連続1位を獲得しました。表彰支部及び分会は左表のとおりです。

健診の大切さを仲間に伝えたことで、受診につなげた功績を称え、対象の支部・分会には、後日、表彰状と賞金目録が贈られました。仲間のみなさんによる健診・特定保健指導の取り組みを推進いただき、ありがとうございました。

特定健診受診率　全体52.3%

1位	文京支部	59.8%
2位	小平東村山支部	59.1%
3位	日野支部	58.4%

特定保健指導利用率　全体8.9%

1位	三鷹武蔵野支部	23.7%
2位	小金井国分寺支部	22.0%
3位	村山大和支部	21.6%

特定健診・家族受診率　全体37.3%

1位	小平東村山支部	44.8%
2位	品川支部	44.5%
3位	村山大和支部	42.8%

特定健診受診率　70%達成分会

練馬支部	北事業所分会	三鷹武蔵野支部	井の頭分会
港支部	大島分会	調布支部	富士見分会
品川支部	二葉分会	西東京支部	藤和ハウス分会
	八丈島分会	日野支部	日野第四分会

※「特定健診受診率目標達成支部」、「特定保健指導利用率目標達成支部」は、該当する支部がありませんでした。

左から奥村議員（文京）、渡辺理事（三鷹武蔵野）、津田議員（品川）

練馬 日曜集団健診で受診率向上図る

練馬支部の特定健診受診率は、安定して上位を維持しており、25年度は55・4％（5位）まで到達し、今後も更なる伸びが期待されます。

継続して高い受診率を維持するための取り組みを紹介します。

【保健対策推進委員の役割を明確化】

毎年、新年度の4月に第1回目の「社会保障対策部会」を「保健対策推進委員会」と合同で開催し、「2026年度活動における重点」として、受診率の向上と健康への意識付け強化の取り組みを推進していくことを確認しています。

特に、保健対策推進委員の取り組みとして、①健診受診の目標達成をめざす。②特定保健指導、健康教室の参加者を増やし、仲間の健康維持への意識を高める。これらを重点に、分会内での受診勧奨などを定期的に行なう役割を担ってもらっています。

【日曜集団健診の実施】

平日の健診だけでは受診率を大幅に引き上げることができないことから、練馬支部では全体の大きな取り組みとして「日曜集団健診」を6月、10月、2月の年3回、支部会館だけでなく、地域医療機関2カ所を合わせて、3カ所で実施しています。また、駆け込みでの受診者を受け入れるべく、年末や年度末にも日曜健診を地域医療機関の協力を得て、開催しています。

毎年、同じ時期に実施することで、近年では受診者は固定化し、受診率は安定してきています。しかし、以前は当日キャンセル者が多く、医療機関に迷惑をかけてしまうなど、不安定な状況が続いた時期がありました。そこで、申込みを受け付けた際に、当日の連絡先を確認し、分会社保対部長・保健対策推進委員の協力を得て、事前の連絡や地域医療機関で組合独自の受付を設け、①当日指定時間に来ていない方に連絡をする。②託児室を準備する。③会場で保健指導の呼びかけと案内を行なう（②と③は支部健診のみ）など、申込者の受診漏れ防止や健診を受けやすい環境作りを心がけました。その結果、当日キャンセル者は1割を切りました。

【未受診者への対応の強化】

分会内での受診勧奨は「新年度の4月」と「秋の9月」に焦点を当てています。保健対策推進委員が主体となって、未受診者リストを活用し、群会議を中心に訪問や電話での受診を呼びかける活動を行なっています。また、支部の機関会議では、適時受診状況を共有し、社保対部長から受診勧奨の徹底を強調しています。

【分会単位の健康教室実施】

健康教室の実施については、これまで区内数カ所（ブロック）に分かれ、テーマを決めて開催してきましたが、アンケートを通じて組合員の意見・要望などを聞き入れ、25年度からは、より参加がしやすいことに重きを置き、分会ごとの開催としました。その結果、22分会198人の参加があり、健康に対する意識づけの強化につながりました。

最後に、今後も練馬支部では、保健対策推進委員を中心とした地道な呼びかけを柱に、自身の健康と私たちの建設国保を守るために、健診の必要性を繰り返し伝えていきます。

村山大和 集団健診と特定保健指導の同日開催で利用率増加

村山大和支部の特定保健指導利用率は24年度7・8％から、25年度21・6％（3位）と大きく向上しました。

以下、この要因につながった取り組みを紹介します。

【集団健診と同日開催】

支部ではこれまで年5回、提携医療機関の協力で日曜日に医療機関内での健診を実施してきましたが、25年度の途中までは健康診断のみの開催でした。

保健指導対象者には電話連絡での利用勧奨で留まっていましたが、利用率の低迷について、支部全体で危機感がありました。そこで、年度最後の2月の健診では、特定保健指導を会場内で同時開催することにしました。

同時の開催では、健診結果から保健指導対象者がすぐにわかるため、診察後に医療機関側から対象者への声かけができます。検査直後で自身の数値が明確なこともあり、対象者の約半数が利用することに同意され、特設ブースにて、保健師や管理栄養士との面談につながりました。

【今後に向けて】

健診と保健指導を同日同会場で開催することで、その場で利用の声かけができるという、効率の良さが顕著に表れました。村山大和支部ではこの経験を生かし、仲間と家族の健康を守る取り組みとして、26年度も同日開催を進めていきます。

被保険者の異動手続は 14日以内に

組合員世帯に異動（家族の加入・喪失、住所変更など）があったときには、必ず14日以内に所属の支部に届出をお願いします。マイナ保険証をお持ちの方も必ず手続が必要です。届出が遅れると、保険料や、医療費の精算手続が発生することがありますので、ご注意ください。届出に必要な書類、手続方法については所属の支部へお問い合わせください。

届出が必要なとき	届出内容
家族が増えたとき	結婚、出産、退職などにより、国保組合に加入する家族が増えたときは資格確認書または資格情報のお知らせと健診受診券（19歳以上の家族の場合）を交付します。
家族が減ったとき	就職、死亡、世帯分離などで家族が減ったときは国保組合に資格確認書または資格情報のお知らせを返します。
住所が変わったとき	住所が変わったときは、資格確認書または資格情報のお知らせの住所の記載を変更します。都内⇔都外の引越の場合は保険料が変わります。
氏名が変わったとき	結婚などで氏名が変わったときには、資格確認書または資格情報のお知らせの氏名の記載を変更します。
子どもが遠方の学校へ入学して住民票を移したとき	修学のために住民票を移しても、届出により、引き続き国保組合の資格確認書または資格情報のお知らせを使用することができます。
働き方が変わったとき	職人から一人親方や事業主になったり、働き先が変わった場合は届出が必要です。保険料が変わる場合があります。
法人事業所を設立するとき *事前に支部へご相談ください。	引き続き東京土建国保に加入するために、「健康保険適用除外承認」の手続が必要です。

2025年度 東京土建国保 保険者インセンティブ採点結果

順位	11位／157国保組合中（前年度6位／157国保組合中）	点数	809点／1,000点満点中（前年度836点／960点満点中）

『保険者インセンティブ』は特定健診の受診率など12の評価項目（指標）について、国が国保組合の取り組み状況を点数評価し、財政支援を行なう仕組みです。獲得点数に応じ、特別調整補助金の一部が配分されます。

満点が取れた指標	がん検査受診率やジェネリック医薬品の利用促進など。
結果が悪く得点が低かった指標	特定健診受診率、特定保健指導実施率などにかかる指標（30点/170点中）

⇒40歳以上の健診受診、特定保健指導の利用が点数アップにつながります。

2026年度　『保険者インセンティブ』の国予算が7億円から20億円に　→　国は保険者機能を評価する制度として一層重視

国保組合だより

健康ウォーキング 2026

参加無料！

東京土建 TOKYO DOKEN KOKUHO 国保 SINCE 1970

開催日

2026年 **11月8日（日）** ※雨天決行

8時30分～13時00分　ゴール後自由解散

スタート会場

多摩中央公園 大芝生広場

（東京都多摩市落合2-35）

（京王・小田急多摩センター駅 徒歩約10分）
（多摩都市モノレール「多摩センター駅」 徒歩約10分）

募集

先着300人

参加条件：東京土建国民健康保険組合または東京土建一般労働組合加入の組合員および家族

コース紹介　4kmコース/8kmコース

4km・8kmコースとも、車道と完全に分離された遊歩道が多く、心地よい風を感じながら安全に歩くことができます。江戸時代の風格ある佇まいを残す「旧富澤家住宅」や、復元された竪穴住居が並ぶ縄文時代へのタイムスリップ気分を味わえる「東京都立埋蔵文化財調査センター（縄文の村）」などの歴史スポットにも立ち寄ります。自然と歴史の魅力を一度に満喫できるコースを、ぜひ皆様のペースで楽しんでください。（コースは体力と体調に合わせて当日選べます）

申込方法

❶下記の参加申込書に必要事項を記入し、国保組合へFAX、郵送または所属の支部へ持参
➡お申し込み後、10月以降に案内を郵送します。
❷国保組合ホームページ（二次元コード）
➡お申し込み後、参加受付確認メールをお送りします。

東京土建国保

注意事項　※必ずお読みください。

- 治療中の病気がある方は、医師に相談及び体調管理にお気をつけのうえ、ご参加ください。
- 当日は公共交通機関でご来場ください。
- ペット同伴での参加はご遠慮ください。
- 万一、ケガや事故が発生した場合、応急処置と主催者が加入している傷害保険の範囲内での対応となります。
- **本イベント中に撮影した写真は、国保組合だよりなどの広報物に使用する場合があります。あらかじめご了承ください。**

お楽しみ完歩抽選会

完歩者には毎年恒例のお楽しみ抽選会を開催します。バニラVisaギフトカード、おこめ券、ハーゲンダッツギフト券など、ゴールした方全員に景品が当たります！
さらに、お子様には参加賞もあります！

kencom（ケンコム）　スタンプラリーも実施します

コース上にある二次元コードを読み取ると、**最大500ポイントをプレゼント！**貯めたポイントは各種デジタルギフト券などに交換できます。まだの方はこの機会にぜひご登録を（登録するだけでも500ポイントがもらえます）。

※無料の健康支援アプリです。19歳以上の国保組合加入者が利用できます。

事前登録（無料）・詳細はこちら

主催　東京土建国民健康保険組合　協力　特定非営利活動法人 東京都ウオーキング協会
申込／お問合せ先　TEL:03(5348)2982　FAX:03(5348)2983
郵送先　〒169-0074 新宿区北新宿1-8-16　東京土建国民健康保険組合 健康増進課宛

キリトリ線

健康ウォーキング2026 参加申込書（コピー利用可）（申し込みをされた方には、10月以降に案内を郵送します）FAX 03-5348-2983

「資格確認書」または「資格情報のお知らせ」の記号番号※　（記号）91－　　（番号）

所属の支部　　支部

※「資格確認書」または「資格情報のお知らせ」の記号番号は、東京土建国保に加入している方のみご記入ください。

ご家族のみ参加の場合も必ずご記入ください。

	参加者氏名	続柄	生年月日・年齢	住所・電話番号
組合員	フリガナ　男・女 いずれかに○　参加する・参加しない	本人	昭・平・令　年　月　日 （　　）歳	〒　－ ☎（自宅・携帯）（　　）　☎（緊急連絡先）（　　）
組合員以外の方	フリガナ　男・女		昭・平・令　年　月　日 （　　）歳	〒　－ ☎（自宅・携帯）（　　）　☎（緊急連絡先）（　　）
	フリガナ　男・女		昭・平・令　年　月　日 （　　）歳	〒　－ ☎（自宅・携帯）（　　）　☎（緊急連絡先）（　　）
	フリガナ　男・女		昭・平・令　年　月　日 （　　）歳	〒　－ ☎（自宅・携帯）（　　）　☎（緊急連絡先）（　　）
	フリガナ　男・女		昭・平・令　年　月　日 （　　）歳	〒　－ ☎（自宅・携帯）（　　）　☎（緊急連絡先）（　　）

●アンケートにご協力ください

▶今回の健康ウォーキングの開催はどこで知りましたか?次の1～4に○を付けてください。（複数回答可）
1.けんせつ（国保組合だより）　2.群会議など東京土建の各種会議
3.国保組合ホームページ　4.その他（　　）

▶過去に国保組合主催の健康ウォーキングに参加したことがありますか?
1.はい（　　回）　2.いいえ

応募締切日　2026年10月30日（金）

※参加者氏名は参加される方全員のお名前をご記入ください。※住所・電話番号が同じ場合は、組合員もしくは代表者の方のみご記入ください。
※ご記入いただいた個人情報は、参加証の発送および傷害保険加入、当日の緊急連絡の目的以外には、第三者への提供および利用はいたしません。

がん哲学外来

樋野　興夫先生
医学博士。順天堂大学名誉教授。著書は『がん哲学外来へようこそ』など多数。

がんの不安や悩みをかかえていませんか？不安な気持ちや折れそうな心のうちを、がん専門医の樋野先生に打ちあけて、言葉の処方せんをもらいませんか？

対象者　がんでお悩みの組合員・ご家族
費用　無料
開催日時　9月12日(土) 10時～12時
10月　3日(土) 10時～12時
11月21日(土) 13時30分～15時30分
場所　「けんせつプラザ東京」3階
新宿区北新宿1-8-16
(JR大久保駅徒歩3分)

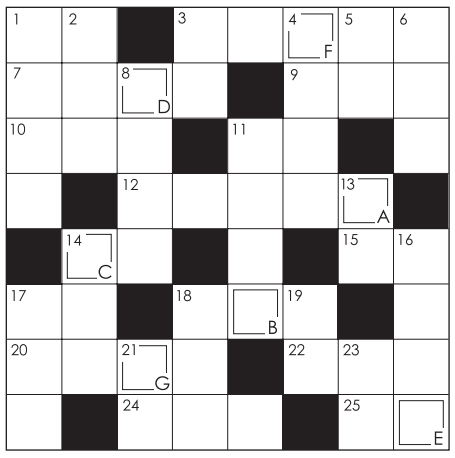
各組30分～50分程度
※日時は変更になる場合があります。

「がん哲学外来」⟶
ホームページはこちら

申込み・問い合わせ先　健康増進課　☎03-5348-2982まで

クロスワード

パズル制作:スカイネットコーポレーション



キーワード　A　B　C　D　E　F　G

前回の答え　ヒマワリバタケ
多数のご応募ありがとうございました。

キーワードに文字を入れてください。

はがき、またはメールで、①キーワード、②所属支部名、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥資格確認書または資格情報のお知らせの記号・番号（現在、国保組合未加入の方は不要）、⑦国保組合の給付制度・補助金（インフルエンザ・宿泊旅行）・健診などを利用してのご感想、国保カレンダー・土建国保ガイドへのご意見、国保組合への要望などをご記入のうえ、下記の宛先へお送りください。締め切りは2026年9月15日（火）です。正解者の中から、抽選で10名にクオカードをプレゼントします。なお、抽選結果の発表は、発送をもって代えさせていただきます。また、お寄せいただいた感想・要望などは、国保組合だよりの掲載や取材依頼をすることがありますので、あらかじめご了承ください。次回は10月1日発行の国保組合だよりに掲載します。お楽しみに！

※応募は東京土建国保組合加入者、または東京土建一般労働組合加入者に限らせていただきます（国保組合脱退後、労働組合に引き続き加入している方も応募可能です）。

〒169−0074　東京都新宿区北新宿1−8−16
東京土建国民健康保険組合　健康増進課
メールアドレス
kenzo@tokyo-nhis.or.jp
（QRコードもご利用ください）
メールで応募ができます！
※①～⑦を忘れずに送信

タテのカギ

1 三段跳びで、ホップとジャンプの間
2 二日酔いに効くとされる小粒の貝
3 優雅で○○がいい貴婦人
4 「ほうとう」はこの県の郷土料理
5 弓に張る糸
6 テスト用紙に書き込む
8 当店の肉は○○○○物ではなく国産です
11 天才は1%の○○○○と99%の努力である
13 虫取りで使う道具
14 店先でくぐる布
16 古道具や古美術品が並ぶ○○○○市
17 公私ははっきりつけましょう
18 後から書き足した文章
19 ピアスやイヤリングで飾る
21 格闘技のキック
23 わからない…。○○は深まるばかりだ…

ヨコのカギ

1 海外でも愛されている日本食
3 豆腐に薬味やしょう油をかけた料理
7 物事を行なう段取り
9 これを並べて縄で縛ればいかだの完成
10 配送のトラックから降ろす
11 カモの○○が親鳥の後をチョコチョコ…
12 地球上の陸地面積の3分の1を占める大陸
14 お面をつけて舞う伝統芸能
15 神社で緋色の袴をはいている女性
17 太陽が沈む頃
18 ススキを飾り、団子を供えて行なう行事
20 源義経に仕えた僧
22 船が停泊する場所
24 東大寺の南大門にある金剛○○○像
25 長い鼻を器用に使う

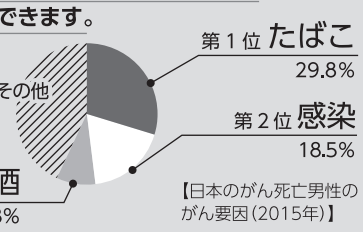
＼知って！しらべて！わたしたちの「がん」／

たばこをやめて、がんを予防しよう

専門職コーナーでは、がんに関するマメ知識をお伝えします。
今月からは、「がん予防」についてご紹介していきます。

Q　がんで亡くなった男性で、「たばこ」ががんの原因だった人はどのくらい多いでしょうか？
①1番多い　②2番目に多い　③3番目に多い

A　**正解は、①1番多い**
がんで亡くなった男性のうち、約3割がたばこを吸っており、**禁煙することで、がんになることやがんで亡くなることを予防できます。**



【日本のがん死亡男性のがん要因（2015年）】

禁煙には、オンライン禁煙プログラムがおすすめ

理由は、
- 通院の手間なし！
- 参加費無料！
- 成功率が高い！

申込・詳細はこちら→

あなたの川柳で、がんの関心をひろげよう!

がんばろう　がんこオヤジも　がん検診

渋谷支部　Nさん

川柳のご応募ありがとうございました。
まだまだ、被保険者の皆さんからの「がんにまつわる川柳」を募集しています。クロスワードパズルの回答と一緒に、または健康増進課（kenkouzoushin@tokyo-nhis.or.jp）までお送りください。川柳は国保組合だよりや健康だよりで紹介させていただきます。

健診契約機関の追加・契約変更

健診契約機関の追加《2026年6月1日付契約》

契約機関名称	東京土建健診	節目健診
いずみクリニック（羽村市） 所在地：羽村市栄町 2-6-29 電話番号：042-555-8018	○	×

給付金・補助金の支払日

		9月	10月	11月
一部負担払戻金（自動振込分）		18日(金)	16日(金)	20日(金)
その他給付金	1回目	11日(金)	13日(火)	11日(水)
	2回目	28日(月)	26日(月)	26日(木)
補助金（宿泊旅行、インフルエンザ等）		24日(木)	21日(水)	24日(火)

注意
通常、申請から支払までに数週間～1カ月ほどかかります。特に療養費・高額療養費は、東京都国保連合会に審査や計算を委託しているため、支払いまで2カ月以上かかる場合があります。

健康ウォーキング　コース紹介

2026年11月8日（日）に健康ウォーキング2026を開催します。本号と10月1日号では、コース内のスポットについてご紹介します。

今回は4kmコースと8kmコースともに通る「東京都立埋蔵文化財調査センター」を紹介します。こちらの施設では、多摩ニュータウンにて発見された数々の出土品から、旧石器時代～江戸時代の通史を確認できるような展示がされています。また、施設の近くには縄文時代の景観を再現した「縄文の村」があり、当時の竪穴住居が復元されています。

東京都立埋蔵文化財調査センター　全体見取り図

多摩ニュータウンのヴィーナス（縄文時代中期前半）

復元された竪穴住居

2026年9月1日（火）から、応募受付開始です。皆様のご参加をお待ちしています！

（その他詳細につきましては、11面の健康ウォーキング2026のお知らせと参加申込書をご覧ください。）

次回10月1日号でもスポットをご紹介します。お楽しみに！

写真提供：東京都埋蔵文化財センター